

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890200011
法人名	有限会社 ウェルケアサービス
事業所名	ウェルえがお
所在地	愛媛県今治市恵美須町2丁目2番地1
自己評価作成日	平成 23年 7月 20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

事業所は、利用者様第一主義の理念の元、運営者と職員が一丸となって日々の支援に取り組んでいる。特に地域との交流は積極的に行い、年間を通してボランティアによる慰問や地域の子供たちとの交流等を行っている。また、利用者様に四季を感じて頂ける様、外出支援（花見（梅、桜、藤等）、バラ園見学、初詣、間近でのおんまく花火大会見物、紅葉狩り等）の他、事業所内での行事【端午の節句、七夕会、夏祭り、運動会、節分、クリスマス会、ひな祭り等】も行っている。【なでしこ】では、利用者様の希望もあり、月に一度の外出を行っており、馴染みになっている店側もこちらの事情を考慮して、事前に食材を刻み食にしてくれたりと事業所への理解も得られている。今後も地域との交流を積極的に行い、利用者様、ご家族様だけでなく地域に愛される事業所を目指したい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所では、毎日の朝礼時、事業所の理念を唱和して、職員間で共有されている。前回の外部評価を受けて、ご家族にも事業所の理念を知っていただけたらよい、家族会の中で理念について説明をされ、ご家族とも事業所理念を共有された。さらに、理念をもとにして「笑顔で接すること、利用者とそのご家族の立場に立って考えること、人権を尊重すること」等と「誓いのことば」も作っておられ、事業所理念とともに各ユニットに掲示されていた。散歩の際、近くの公園で「親子サークル」と交流することもあり、子どもが好きな利用者も多く、とても喜ばれるようだ。事業所にはボランティアの訪問が多く、演劇や民謡、民舞等を披露してくださっている。事業所では、さらに地域の方との交流を深めるため、今月末、事業所で行う予定の夏祭りに、地域の方にも来ていただくことを検討されていた。「おんまく花火大会」には、港の駐車場で地域の方と一緒に花火を楽しまれた。日頃から商店街や町内会の方々が事業所のことを気にかけてくださっており、秋祭りは神輿が来てくれたり、行事がある時には誘ってくださっている。

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年8月8日

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

ウェルえがお

(ユニット名)

なでしこ

記入者(管理者)

氏名

黒川 恭嗣

評価完了日

平成 23年 7月 20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 管理者、主任は事業所の理念を理解し、職員に理念を周知 する為、日常的に話をしている。また、理念をスタッフルーム 及び各ユニットのフロア内に明示する事により、理念の意識 付けを図っている	
			(外部評価) 事業所では、毎日の朝礼時、事業所の理念を唱和して、職 員間で共有されている。前回の外部評価を受けて、ご家族 にも事業所の理念を知っていただけよう、家族会の中で理 念について説明をされ、ご家族とも事業所理念を共有され た。さらに、理念をもとにして「笑顔で接すること、利用者とそ のご家族の立場に立って考えること、人権を尊重すること」等 と「誓いのことば」も作っておられ、事業所理念とともに各ユ ニットに掲示されていた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 地域の行事には積極的に参加し、交流を深めている。天候 や利用者の体調にもよるが、近隣の散歩は日常的に行っ ており、地域住民とふれあえる様、努めている	
			(外部評価) 散歩の際、近くの公園で「親子サークル」と交流すること もあり、子どもが好きな利用者も多く、とても喜ばれるよ うだ。事業所にはボランティアの訪問が多く、演劇や民謡、 民舞等を披露してくださっている。事業所では、さらに地 域の方との交流を深めるため、今月末、事業所で行う予 定の夏祭りに、地域の方にも来ていただくことを検討され ていた。「おんまく花火大会」には、港の駐車場で地域 の方と一緒に花火を楽しまれた。日頃から商店街や町内 会の方々が事業所のことを気にかけてくださっており、 秋祭りには神輿が来てくれたり、行事がある時には誘っ てくださっている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) 認知症の理解や関わり方についての相談や施設見学等 にいつでも対応している。また、地域行事への参加や近 隣の散歩等の外出支援を積極的に行う事で、地域住民 に認知症の理解を得られる様、努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2ヶ月に1度の運営推進会議にて、利用者の状況や事業所の取り組み、今後の方針等の報告を行い、市の職員、民生委員、利用者家族等と色々な事を話し合い、その場で出た意見・要望等を今後のサービスに活かせる様、努めている</p> <p>(外部評価)</p> <p>前回の外部評価を受け、会議への参加者を増やすことに取り組みました。ユニット毎、職員が交代で会議に参加されたり、ご家族全員に会議の案内を出し、少しずつ参加して下さるご家族が増えて来ているようだ。会議では、事業所の取り組みや行事について報告されている。今後は、昨年より検討しておられる消防や警察等、地域の方にも参加いただけるよう呼びかけて、さらに事業所のサービスの質の向上に活かせる会議となるよう取り組みたいと考えておられた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎月末に入居状況の報告の他、困難事例や退去者の相談援助を行っている</p> <p>(外部評価)</p> <p>6月に開催した運営推進会議時では、市の担当者の方から食中毒や腸炎等について注意することを教えていただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホーム内での拘束防止を徹底しており、玄関及びユニットの出入り口も日常的に開放している。また、ベッド柵等を使用する場合は家族等に使用の確認をし、禁止対象行為にならない様、努めている(柵で四方を囲まない等)</p> <p>(外部評価)</p> <p>各ユニットの出入り口の扉を開けると、チャイムが鳴るようになっていて、事業所は、建物の2・3階に位置しており、利用者の中にはご自分でエレベーターを使い上がり降りされる方もいる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティング等において、利用者の様々な状態における対応を話し合い、虐待防止を徹底している	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度概要等や申し立て手続き等に関する説明。専門機関や相談窓口の紹介等に努めている	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には十分な説明を行い、理解・納得を得られる様、努めている	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者及び家族等の要望・意見・苦情等は管理者や職員を通じて把握している。また、1F玄関とユニットの入口に意見箱を設置している他、家族が気軽に要望等を訴えられる様な雰囲気作りにも努めており、運営推進会議や家族会等において、家族間で意見交換出来る場を作り、事業所への評価等を頂いている (外部評価) 事業所では、年に2回、「家族会」を開催されている。7月の家族会はユニット毎に行い、4～5名のご家族と利用者、職員でお茶を飲みながらテーブルを囲み、事業所の日常の様子をみていただきながら過ごされ、その後別の場所に移り、職員とご家族で意見交換するような機会を持たれた。ご家族からは「利用者と一緒に外出したり、外食に出かける機会を作り、身内だけでなく、家族みんなで利用者を支えていきたい」という言葉もいただいたようだ。金銭の報告については、毎月、利用者の日常の様子等をお知らせする「月間状況報告書」とともに送付されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的にミーティングを開き、職員の要望等で可能なものは実施している他、職員が気軽に代表者や管理者に意見や要望等の提案を出来る様な雰囲気作りに努めている	この一年間、職員は内部・外部研修を受講するような機会が少なかったようであるが、事業所のさらなるサービスの質の向上を目指して、年間の研修計画を作成する等して、職員がさらにスキルアップするような機会を作ってはどうか。職員個々が研修で習得した知識や技術を、事業所にフィードバックするような仕組み作り等も期待される。
			(外部評価) 月に1度、ユニット毎にミーティングを行っておられ、利用者の生活について気になること等を出し合い、対応について話し合っておられる。又、職員からの意見や要望は、主任を通じて管理者や代表者に伝わるようになっている。職員は、「認知症や介護計画の作成等についてさらに勉強して、もっと利用者一人ひとりに応じたケアをすすめていきたい」と話しておられた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 代表者は、日々の日報や行事等の参加により、管理者や職員の努力や工夫を把握する様、努めている	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員の希望する研修等には、働きながら受けられる様、勤務調整等に努めている	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 育成機関からの研修には毎年対応しているが、同業者間の交流ネットワークは構築出来ておらず、相互訪問等が行える同業者を作るのが課題となっている	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 利用開始前に面接を行う事によって、本人が困っている事、不安な事、要望等によく耳を傾け、安心を得られる様、努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 利用開始前に現在困っている事、不安な事、要望等によく耳を傾け、安心を得られる様、努めている	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) まず、本人及び家族等からの相談の段階において、他のサービス利用についての説明を行っている。また、ホームを利用する場合においても仮入居期間を設ける等して、本人及び家族等が望んでいる支援が出来ているかを見極めている	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 日常的に調理の下ごしらえや食事の盛り付け、新聞取り、ゴミ出し、掃除等の作業を職員と一緒にを行い、時には職員が指導を受けながら、様々な事を利用者から学ばせて貰っている	
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族会や季節毎の行事等に積極的に参加して貰いながら、家族にも職員と一緒に利用者を支えているという実感を持って貰える様、努めている	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会者が訪問し易い様な雰囲気作りに努めている他、馴染みの店舗への外出等、生活の継続支援に努めている (外部評価) 馴染みの美容室でカットした帰り道に、職員と車でご自宅の周りをまわってみられたり、以前、よく利用されていたパン屋でパンを買って帰ることもあり、ご本人はたいへん喜ばれるようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 日中はフロアで過ごして頂ける様、レクレーションやリハビリ体操、行事等に参加して貰っている。また、一緒に外出する事によって連帯感を得られる様、努めている	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去後も相談援助を行いながら、関わっていける様、努めている	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々のコミュニケーションにより、生活のパターンや嗜好、本人からの要望等の情報を収集し、把握する様、努めている (外部評価) 職員は、日々の利用者との会話や生活の様子等から、利用者個々の思いや意向の把握に努めておられる。センター方式のシートを用いて、半年に1回アセスメントされている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 職員間で情報を共有し、得られた情報を日々のコミュニケーションにおいて活かし、更なる信頼関係の構築やより深い生活歴等の情報を得られる様、努めている	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員間で話し合いを行い、自然かつ本人の負担にならない様、有する力を発揮出来る様な生活環境作りに努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人及び家族等、必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画を作成している</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、3ヶ月に1度モニタリングを行い、半年ごとに見直すようになっている。ご家族の来訪時等に、ケア等についての意見や要望をお聞きして、利用者の「一日こう過ごしたい」という希望を踏まえて、ユニット毎に職員で話し合って作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者一人ひとりの状態や言動を個人カルテに記録し、職員間での情報の共有を図りながら、日々の生活に活かしている</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人及び家族等の相談・要望等に柔軟に対応出来る様、努めている</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の馴染みの店への外出支援や近隣の散歩や買い物等、地域資源を活用出来る様、努めている また、馴染みになっている飲食店では、こちらの事情を考慮して、必要な方には予め刻み食を用意してくれる等、事業所への理解も得られている</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)	
			利用者及び家族等が希望、または納得している医療機関を受診出来る様、支援している	
			(外部評価)	
			定期受診は、基本的にご家族が付き添うようになっているが、ご家族の都合に合わせて職員が同行されている。利用者の状態によっては、職員が同行されたり、事業所での利用者の状態を記した「介護報告書」を持参していただくこともある。歯科受診は、ほとんどの利用者が送迎付きの歯科を利用されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価)	
			協力医療機関の医師・看護師等とも相談しながら、日常の健康管理等の支援に努めている	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価)	
			入院時には医療機関との連絡を密に取り、早期退院に向けての指導を仰ぎ、実施している	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			利用者及び家族等の希望やかかりつけ医の指示を仰ぎながら、事業所として「出来る事、出来ない事」を見極め、出来る限りの支援に取り組める様、努めている	
			(外部評価)	
			事業所では、「医療行為が必要になれば、事業所での生活は難しい」ことをご家族に説明されている。看取りに対するご家族の希望については、利用開始時等にお聞きしているが「その時にならないとわからない」とのお返事が多いようだ。代表者は「医療行為が発生しなければ、事業所での看取りは可能であるが、今後は、医療機関との連携を密にしていことが課題」と話しておられた。現在、終末期には病院に入院となる場合が多い。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 開設時に事業所の代表者をはじめ全員で消防署の実施する救命講習を修了しているが、新規職員等の受講は出来ていない	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域協力者の確保。避難訓練は定期的実施している (外部評価) 年2回、事業所独自で避難訓練を行っておられる。自治会長と近隣の方も連絡網に加わっていただいております。連絡を入れると駆け付けてくれるようになっている。昨年11月には、スプリンクラーを設置された。	事業所の立地条件や利用者の状態等を踏まえて、いろいろな場面等を想定した避難訓練を重ねていかれてほしい。避難経路や避難方法について、消防署や地元消防団・防災士等にアドバイスを受けるような機会も作って、災害時すべての利用者・職員が避難できる方法を見つけていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりの尊厳を守り、誇りやプライバシーを傷つけない様な言葉掛けや対応を行う様、努めている (外部評価) 調査訪問時、職員は笑顔で、時に快活に利用者へ接しておられ、利用者を「～ちゃん」「おとうさん」「おかあさん」と呼んでいるような場面もみられた。ご家族の中には、そのように呼んでほしいと希望される方もあった。	外部評価時、外部者が気付いたことは、事業所のケアの質向上への取り組みのきっかけにもなることを踏まえて、事業所でもこのきっかけを活かして、日頃のケアを点検されたり、今後の取り組み等についても話し合われてみてはどうだろうか。又、運営推進会議メンバー等、外部者に事業所のケアについて気付いたことを出してもらえよう機会を作る等、取り組みのきっかけを作って、事業所のケアサービスの質向上につなげていかれてはどうだろうか。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者一人ひとりが自己決定や希望を表出する事を大切に、それらを促す取り組みを本人と相談しながら日常的に支援している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	職員は職員側の決まりや都合で業務を進めていくのでは なく、利用者が自由に自己のペースを保ちながら生活出来る 様、利用者の意思を尊重し、支援する様、努めている	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価)	生活場面に合わせた、その人らしい服装等を本人と相談し ながら支援している	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しいものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	利用者には負担にならない様、留意しながら職員と一緒に 食事の配膳や片づけ等を有する力を活かしながら実施して いる また、職員は利用者と同じ食事を一緒に楽しみながら食べて いる	
			(外部評価)		献立は、日々利用者と職員が相談しながら決め、旬の食材 を多く採り入れた食事となっている。食事作り担当の職員が 食事を作っておられ、調査訪問時、利用者は下膳したり食 器を拭く等、食後の後片付け等をされていた。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価)	主治医及び家族等と相談したり、チェックシートを活用して 支援している	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価)	毎食後、本人の力に応じた口腔ケア実施している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			利用者一人ひとりの排泄を記録している排泄チェックシートを活用し、個別の排泄パターンを把握する事により、早期の声掛けを行う事で、排泄の失敗防止や自立に向けた支援を行っている	
			(外部評価)	
			排泄記録で利用者個々のパターンを把握して早めに声をかけることで、昼間は布パンツで過ごされている利用者も多い。職員は、便失禁がみられるようになった利用者の様子を観察して、落ち着かないような状態の時にトイレに誘うことを支援され、トイレで排便する回数が増えたような事例がある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			繊維質の多い食事や体操等の運動だけでなく、医師の診断で処方されている便秘薬の使用または便通の良くなる飲み物(牛乳等)を飲んで貰う等の取り組みを行っている	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			利用者一人ひとりの希望に沿ったくつろいだ入浴が出来る様、本人の意思を尊重し、その日の体調等に留意しながらの入浴支援に努めている	
			(外部評価)	
			事業所は午後から入浴をすすめておられるが、利用者の希望で朝一番に入浴される方も支援されている。シャンプーやボディソープは、利用者個々に好みのものを用意して使用されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			利用者によっては、その日の体調等を考慮し、日中でも居室で休息して貰っている。また、夜間眠れない利用者には、状態に応じて、日中によく運動して貰ったり、医師から処方されている眠前薬を服用する事により、安眠に繋がる様、支援している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者一人ひとりの服薬書類を作成し、職員間で共有出来る様、努めている。また、服薬に変更があった際には症状の変化等の確認に努めている	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりにその有する力を活かした作業(調理の下ごしらえ、食器拭き、新聞取り、洗濯物たたみ等)を提供する事により、楽しみや役割を見出せる様な場面作り等の支援に努めている	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 利用者一人ひとりの希望に応じて買い物等への外出支援に努めている。また、全体で外出する際は四季を感じられる場所やシーン(吉海バラ公園、藤棚見物、おんまく花火見物等)への外出支援に努めている	
			(外部評価) 事業所では外出支援に力を入れて取り組んでおられ、毎日のように事業所周辺を散歩されたり、利用者と職員で買い物に出かけたり、計画を立ててユニット毎で外出されることもある。お誕生会を兼ねた外食時にはご家族にも声をかけて一緒に出かけることもある。ご家族からの希望もあり、今後はご家族も一緒に外出したり、外食するような機会を増やしていきたいと考えておられた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 基本的には鍵付のロッカーで預かっているが、どうしても手元に持っておかないと不安だと訴えられる利用者には、家族等とも相談し、少しずつのお金を手渡して安心して貰っている	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望に応じて、電話等の通信支援は日常的に行っている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家庭的な雰囲気作りに努め、物品や装飾も家庭的な物を使用している。また、各居室には表札を設置して、自身の部屋をわかりやすくしたり、トイレや浴室等においても絵や文字で大きく明示する事により、混乱を招かない様、努めている	
			(外部評価) テレビの前にはソファがあり、食後にテレビを見ながらくつろいでいる利用者の様子がみられた。壁には、朝・昼・夕食のメニューを書いたボードが掛けられてあり、利用者がみて、食事を楽しみにされている。又、今日の日付を大きく示して貼っておられた。居間には、ちょっと腰を下ろせる畳コーナーがある。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共有空間には椅子・ソファ・畳コーナーを設け、利用者一人ひとりが好きな場所でくつろげる様な空間作りに努めている。また、気の合った利用者同士で過ごす時には、他の利用者から少し離れた場所に座られたり、自身の居室に招いて過ごされている	
			(外部評価) 利用者一人ひとりが、使い慣れた家具や生活用品等を持ち込める様、入居時に本人及び家族等とも相談しながら、安心して居心地良く過ごせる居室作りに努めている	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室には、ベットと整理たんすが用意されてあるが、ご自宅で愛用されていたベットを持ち込まれている利用者もいる。たんすの上には、テレビを置いたりご家族の写真が飾られていた。	
			(外部評価) 利用者一人ひとりの身体機能を活かせる様、手すりの設置等、出来るだけ自立した生活が送れる様、安全で使い易い工夫をしている	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者一人ひとりの身体機能を活かせる様、手すりの設置等、出来るだけ自立した生活が送れる様、安全で使い易い工夫をしている	